

要望書

近鉄四日市駅周辺の交通結節点整備について



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません

令和4年7月

四日市市

平素は、四日市市の政策にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

四日市市は、東西交通の要衝に位置し、古くから東海道の宿場町、港町として栄え、近年では、臨海部の産業集積に加え、内陸部に世界最先端の半導体工場が立地するなど、我が国有数の産業都市となりました。

国土交通省におかれましては、幹線道路をはじめとする交通ネットワークの構築にご尽力されており、本市の周辺においても、平成31年3月に新名神高速道路を全線開通し、東海環状自動車道についても令和8年の全線開通見通しを公表いただいております。

さらに、リニア中央新幹線の東京～名古屋間の開通により、四日市市は東京から2時間圏域に位置することになり、中部圏域の一翼を担う産業都市として、一層の飛躍が期待されています。

このような中、国土交通省の「バスタプロジェクト」のひとつとして、令和3年度に「近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業」を事業化していただいたことに、大変感謝しております。

地域も事業化を受け、大きく機運が盛り上がっており、「バスタ四日市」の誕生を心待ちにしております。現在の近鉄四日市駅は、鉄道、バスともに県内最大の乗降客数を有する交通結節点となっており、ここに「バスタ四日市」が誕生することで、一層の公共交通ネットワークの拡充や地域経済の活性化、発災時の移動手段の確保などが図られるものと確信しております。

市としても、「バスタ四日市」の効果を最大限に発揮させることができるよう、鉄道駅とバスターミナルを直結するペDESTリアンデッキの設置や中央通りの歩行者中心の空間への再編などからなる中央通り再編事業を進めてまいります。

四日市市では、国で進めていただくバスターミナル事業と連携して中央通り再編事業を進めることで、中部圏の西の中核都市として、地域経済のさらなる発展や国土強靱化に寄与できるものと確信しております。

つきましては、その実現に向けて次の事項を強く要望します。

- 「バスタ四日市」の早期実現に向けて、近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業の推進をお願いします。
- 「バスタ四日市」の整備効果を最大化するために、四日市市が進める中央通り再編事業と相互に連携した整備に配慮いただきますようお願いいたします。

令和 4年 7月

四日市市長 森 智広



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません